

**計画期間**

平成18年12月1日～平成21年3月31日

**学校教育目標**

**学校力と地域力で創る若葉台小**

- ・自他共に大切に作る心を育みます
- ・意欲的な学びの芽を育みます

**学校経営方針**

- 学校力と地域力が連携し、健やかな体と豊かな心を育み、学ぶ力を育て、高めます
- 学校再編により新設される若葉台小・中学校9年間の教育を見通したカリキュラム編成に努めます
  - ・児童一人ひとりのより確かな学力の定着を図ります。
  - ・児童一人ひとりが自己実現・自己表現できる、安心して学べる学校づくりを進めます。
  - ・児童の生活の場である(学校も含め)地域社会との連携を深め、実践的な教育活動を進めます。

**指導の重点**

- 若葉台小学校・若葉台中学校の9年間を見通した教育活動の展開を図ります。
- 地域の教育力の活用と地域活動への参画を通じて学校・社会の連携交流を図ります。
- 多様な自己実現・自己表現の有効な手だての一つとして情報機器の活用を図ります。

**改善の視点**

**取組目標**

◎安心して学べる学校環境を整えます。	◎小中5校を再編統合して新設される若葉台小・中学校を、児童生徒が夢いっぱいワクワクする、魅力ある学校にします。 ◎学校・保護者・地域との連携を図り、安心して学べる学校環境づくりに取り組めます。
◎指導の充実を図り、学習意欲と学力を向上させます。	◎教員の組織的な共同研究を通じて指導力向上に努め、児童・生徒一人ひとりのより確かな学力の定着を図ります。 ◎小・中学校の9年間を見通した教育活動の展開を図ります。 ◎体験を重視した活動や問題解決的な活動を取り入れ、児童一人ひとりの良さや個性を生かした学習を進めます。
◎組織としての学校力を高め、家庭・地域との連携交流を図ります。	◎教職員の特性を生かした組織の活性を図り、学校力の向上を図ります。 ◎地域の教育力活用と地域活動への参画を通じた学校・社会の連携交流を図り、開かれた学校づくりを進めます。

人材育成の考え方	・全職員が全児童の担任として、信頼できる職員組織づくりを図り、その中で新任教諭の育成指導に先輩教諭の指導力を生かし、学校組織としての指導力向上に努めます。
平成18年度の重点取組項目	・19年度の新設校、若葉台小・若葉台中学校の円滑な学校づくりを目指し、若葉台小・中5校の連携交流を17年度より進めています。18年度は、小中5校合同の地域清掃活動や3小学校合同運動会の実施を始めに、各学年合同校外学習を実施し、児童・保護者・地域そして学校が一体となって新校づくりに取り組んでいます。
これまでの取組結果	(平成19年度から記載します。)
まちとともに歩む学校づくり懇話会の意見	・「学校づくりはまちづくり、まちづくりは学校づくり」に象徴される若葉台地域の思いを大切に、学校・地域が連携して、これまでの小中5校のよさを生かした新設校「若葉台小・若葉台中学校」づくりに取り組んでほしい。 ・小中一貫カリキュラム作成等、9年間を見通した新しい教育活動(パイオニアスクールよこはま)を推進してほしい。また、若葉台・霧が丘地区合同プロジェクト「学びのまち」を生かした教育活動を推進してほしい。